

函館工業高等専門学校 高専体験DAY2026 スケジュール詳細及び学科・コース体験テーマ等一覧

■スケジュール

時間	内 容	
	生 徒	保護者
8:30 ~ 9:00	受付（学生玄関ホール）	
9:00 ~ 9:15	全体ガイダンス（生徒と保護者は別室）	
9:15 ~ 9:25	移動	
9:25 ~ 10:25	学科・コースの学科体験 1（午前）【前半】	学校説明会 （又は 学科・コースの学科体験 1（午前）に同伴）
10:25 ~ 10:35	休憩	
10:35 ~ 11:35	学科・コースの学科体験 1（午前）【後半】	校内ツアー （参加しない場合、学科・コースの学科体験 1（午前）に同伴 又は 休憩）
11:35 ~ 12:50	昼食・休憩／ロボット研究会によるロボット実演・展示 （食堂・売店は休業のため、昼食はご持参願います） （希望者のみ）寮相談室（11：40～12：10）	
12:50 ~ 13:00	移動	
13:00 ~ 14:00	学科・コースの学科体験 2（午後）【前半】	学科・コースの学科体験 2（午後）に同伴 又は 休憩
14:00 ~ 14:10	休憩	
14:10 ~ 15:10	学科・コースの学科体験 2（午後）【後半】	学科・コースの学科体験 2（午後）に同伴 又は 休憩
15:10 ~ 15:20	各会場でアンケート実施、解散（以下のスケジュールは希望者のみ対象）	
(15:30 ~ 16:00)	（【希望者のみ】寮相談室）	

函館工業高等専門学校 高専体験DAY2026 スケジュール詳細及び学科・コース体験テーマ等一覧

■学科・コース体験テーマ一覧（いずれか2つの学科（コース）を選択）

学科等名	定員	内容	
生産システム工学科 機械コース	30名	テーマ①	CADアセンブリ体験
		概要①	生産機械コースで4年生までで学習する3D-CADを用いた製図教育におけるアセンブリ操作を体験します。さらに3年生、4年生の実験実習で行う3DプリンタによるCADモデルからの実物製作を体験します。
		テーマ②	ロボットアームの制御体験
		概要②	ロボットを活用できる技術者の育成を目指し、4年生で実施しているFA S1er実験の中からPCを用いたロボットアームの制御実験を体験します。
生産システム工学科 電気電子コース	30名	テーマ	電気エネルギーを学ぼう！
		概要	電気エネルギーは、家電製品や電気自動車、産業機械など、私たちの暮らしを支えるさまざまな場面で利用されています。電気電子コースでは、電気エネルギーを「使う技術」と「作る技術」に着目し、モーターと発電の仕組みを体験的に学びます。 ○回るコイルモーターの製作 モーターは、扇風機や電気自動車、エレベーターなど、多くの機械で利用されている重要な装置です。本テーマでは、電流が流れるコイルと磁石を用いて簡単なモーターを製作し、電気エネルギーが回転運動へ変換される仕組みを学びます。実際にコイルが回転する様子を観察しながら、モーターの基本原理を理解します。 ○ぶんぶんゴマ発電に挑戦 発電機は、火力発電所や水力発電所、風力発電設備などで利用されており、私たちが日常的に使う電気を生み出しています。本テーマでは、昔ながらのぶんぶんゴマの回転運動を利用して発電を行います。自分の力でコマを回し、LEDを点灯させる実験を通して、運動エネルギーが電気エネルギーへ変換される仕組みを学びます。
生産システム工学科 情報コース	30名	テーマ	AIを作って問題を解こう
		概要	パソコンを用いて「問題解決」を行うプログラムを作成します。取り扱う問題として、人工知能の「探索」の考え方を使って解ける机上での問題と、EV3の車を用いて迷路の問題を取り扱います。
物質環境工学科	30名	テーマ①	DNAを取り出す・見る・使う！～バイオテクノロジーの世界～
		概要①	試料からDNAを取り出し、自分の目で確認します。さらに、DNAの濃度を測る方法やDNAを増やす方法、DNAを大きさと分離する方法などを体験しながらバイオテクノロジーについて学びます。
		テーマ②	サイアノタイププリント
		概要②	古くからある印画技術のひとつ“サイアノタイププリント（日光写真または青写真）”を体験します。光のエネルギーが引き起こす化学反応を体感しましょう。
社会基盤工学科	30名	テーマ①	橋や建物を支える強い構造
		概要①	建物や橋はたくさんのパーツでできています。地震にも耐える強い構造にするには、1本1本のパーツを強くすることが大切です。強さの秘密を実験で確かめてみます。
		テーマ②	古い建物を生まれ変わらせよう！
		概要②	古い建物の模型を使って、どんな場所に生まれ変わらせるかを考えます。用途カードをヒントに、まちの条件に合わせて建物の使い方をデザインしてみましょう！